

「これからも東北にエールを送り続ける」と誓う永谷生徒会長(左)と海星学院高の生徒たち(提供写真)



海星学院高生が支援継続誓う

海星学院高校(香川謙二校長、233人)の3・11の集いが同校で開かれ、生徒たちは被災地の復興を祈念し、今後も傾聴ボランティアなどの支援事業を継続して「エールを送り続ける」と誓った。

1、2年生165人が参加した。震災直後から現在までの被災地の状況や同校の支援活動について、映像を交えながら振り返った。

永谷佳子生徒会長(2年)は「再び立ち上がる東北の方々の力の源は、自分たちの心をいたわり、思ってくれる人の存在ではないか。力強く応援し続け、共に未来へ歩みを進めていく」と述べ、心を一つにした。(成田真梨子)